



		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88%	12%	0%	子どもたちが増えてきているのでもう少し広いと嬉しい。
	2	職員の配置数や専門性は適切か	89%	11%	0%	美術の専門分野に分かれた先生方が曜日ごとに違い魅力的。看護師、介護士の方もいるので安心です。
	3	事業所の設備等は手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	66%	34%	0%	家や学校の階段も下りる時が怖いと子どもが言うのでデイでも注意をお願いします
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	92%	8%	0%	子どもの進路相談や学校での悩みも聞いてくださり感謝しています。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	92%	8%	0%	毎回多様なことをさせて頂いていて驚いています。感謝です。
	6	放課後の児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	27%	48%	25%	うちの子は交流が苦手なのでその機会がストレスにならないようお願いいたします (無くてもいいと思っている)
	7	学校の宿題を放課後デイでも取り組んでいるか、また事業所独自の学習プログラムをとり入れているか。	84%	14%	2%	家では購入できなかった天神プログラムをさせて頂いているので有難い
保護者 への 説明等	8	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	5%	0%	丁寧な説明をして頂きましたが〇〇加算とかの内容は難しかった。
	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	86%	14%	0%	連絡帳にその日の活動の様子や表情が写真で印刷されよくわかり感謝しています
	10	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	80%	20%	0%	一日サマーキャンプや作品展はとても楽しそうでした。親子でまた参加します。
	11	保護者交流等の開催により保護者同士の連携が支援されているか(イベント等)	52%	34%	14%	保護者交流などの行事は何度かありましたが参加する時間がなかなかとれません
	12	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	40%	0%	トイレトレーニングの対応を要望した時は迅速にやって下さいました。ありがとうございます。
	13	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89%	11%	0%	親ではついイライラしてしまうことでもうまくやって下さっています。
	14	定期的に通信やホームページ等で活動概要や行事、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	78%	22%	0%	HPやパンダ通信にアートスタッフの顔写真や経歴があり信頼が深まりました。
	15	個人情報に十分注意しているか	92%	8%	0%	気を付けてくださっていると思います。
非常時 等の 対応	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し保護者に周知・説明されているか	49%	40%	11%	防犯訓練もやって下さい。(デイは車で送迎なので必要無いでしょうか)
	17	非常災害の発生に備え定期的に避難救出その他必要な訓練が行われているか	70%	28%	2%	今年も昨年も避難訓練の曜日が子どもの利用日と合いませんでした

パンダアカデミーきょうと独自項目

お子さまの美術活動を通しての教室での過ごし方や、ご帰宅後のご家庭における変化のあらわれ

利用後の子どもの変化	18	美術制作を通して子どもの成長が感じられるか	95%	5%	0%	手先が器用になってきたように感じます。ありがとうございます。
	19	言葉づかいに変化はみられるか	49%	40%	11%	親へのあいさつや言葉づかいも良くなってきていますので感謝します。
	20	家での手伝いはすすんでするか	47%	42%	11%	食事の後の片づけをしてくれるようになりました。とてもうれしいです。自ら動いてくれることが増えました。
	21	学校での意欲につながっているか	38%	40%	22%	学校でもお絵かきや図工に集中できるようになっていてと先生から聞きました。
	22	美術への興味、関心は深まっているか	92%	8%	0%	親の知らない画家の名前や作品名を言うのすごと思っています。
	23	美術を通じた家族の会話は増えたか	90%	8%	2%	作品の難しかったところや、頑張った部分を一生懸命説明してくれます。
	24	美術をきっかけにして他の分野への意欲も高まってきたか	70%	25%	5%	いろいろな自信につながっているようです。部活に入り友達も増えました。
満足度	25	子どもは通所を楽しみにしているか	90%	8%	2%	前日から楽しみなようです。年上のお子さんたちの友達が出来ているようです。
	26	事業所の支援に満足しているか	92%	8%	0%	長期休暇でも午前から見ているので大変助かっています。 京都駅の南方面にも教室を出してほしい

2018年2月～3月実施 利用者40名配布 36名回答



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎	○	○	療育の段階に応じたアートプログラムを行うため本校と御所南校にて作品制作を行います。これにより有効なスペースの確保にもつなげることができます。
	2	職員の配置数は適切であるか	◎	○	○	このたび看護師、教員などの有資格者を常勤職員として複数採用しました。専門力を有したアートスタッフなので一層充実したサービスをご提供いたします。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	◎		○	階段移動では安全確保のため職員が必ず付添うなど手すりやバリアフリーを活かした安全活動にも配慮しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	◎	○	日常の打ち合わせやケース会議を通してPDCA に関し職員の意識と意欲をよりいっそう高めて参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	◎			積極的に行わせて頂いております。ご家庭からのご相談には真摯に対応しておりますのでいつでもご連絡ください。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			ホームページ等での公開に伴い、内容に即した信頼ある事業所づくりに精進いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	◎	○	弊社におきましても外部評価者選出を再検討し定期的な実施に向けて調整してまいる所存です。
	8	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	◎	○	○	2018 年度は常勤のみならず非常勤職員も意欲的に研修参加できる機会を増やして参ります。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			美術特化の放課後デイを利用されるお子さまや保護者様のご要望にこたえるべくサービスや指導に努めております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	◎	○	アセスメントツールの活用に長けた職員が在籍しておりますので今後の運営にいっそう活かして参ります。
	11	活動プログラム立案をチームで行っているか	◎			美術特化の放デイとしてご家庭のニーズにお応えしていくことができるよう日々プログラムの充実を図っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎	○		アートプログラムは曜日別に絵画 立体 日本画 彫刻 臨床美術 染織 建築 デザイン等 工夫した時間割を組んでいます

13	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎	○		特に宿題は必須で教員資格を有した職員が多数在籍しておりますのでお役に立っているものと存じます。PC 天神も活用
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎	○		今後もお子さまや保護者のみなさまのより一層のご理解と信頼を得られるよう誠実に対応させて頂く所存です。
15	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎	○	○	日常の打ち合わせを始め会議等での議事録活用と職員間の共有、個別対応や集団指導の役割分担などを行っております
16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	◎	○		美術に特化した日常の療育をわかりやすくご家庭にお伝えするべく連絡帳に毎日の制作を画像でお届けしています。また、支援終了後には職員間での振り返りはもちろん、気になるお子さまのご家庭との電話相談や必要に応じ家庭訪問、保護者面談などを行うなど家庭との連携を大切にしております、またこれらの対応は常勤非常勤問わず職員間でも共有し周知を図っております。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎	○		美術特化の事業所としてひとり一人の制作履歴と療育の視点や、作品づくりから見られる発育や発達の進捗状況等の個別記録、デイ利用後の個別活動記録のまとめ、振り返りや検証、その後の改善（PDCA 等）それぞれの記録が連動するよう努めてまいります。

◎～評価が多かった項目 ○～評価のあった項目 ※ 回答職員6名

(2018年2月～3月実施)